

# 目次

1. 前提.....	2
2. シナリオの概要と目的.....	3
3. ゲームの前に(KP への備忘録を兼ねる).....	6
4. 開催情報.....	8
5. プロローグ.....	9
6. 情報ソース.....	12
6.1. 大前提のルール.....	12
6.2. 本シナリオでの探索マップ.....	13
6.3. 登場人物.....	15
6.3.1. 波戸岸(はとぎし)・ドルー.....	15
6.3.2. 蕨野雫(わらびやしずく).....	17
6.3.3. エリクシア・カータレット.....	19
6.4. 探索で得られる情報.....	21
6.4.1. 薄汚いワンルーム.....	21
6.4.2. 外.....	38
6.4.3. 図書館.....	41
6.4.4. 映画館.....	46
6.4.5. 遺跡.....	49
6.4.6. 封印の洞穴.....	53
7. 特定条件で発生するイベント.....	59
7.1. エリクシアとの遭遇.....	59
7.2. 『蕨野雫のカミングアウト』.....	62
7.3. 『死亡』.....	64
7.3.1. 1 回目.....	64
7.3.2. 2 回目.....	65
7.3.3. 3 回目.....	65
8. エピローグ(後日談).....	66
8.1. 終わる事なき夢の牢獄.....	66
8.2. 悪者の存在しない悲劇.....	67
8.3. 犠牲の上に守られた平和.....	68
8.4. そして取り戻された泡沫.....	69



## 1. 前提



### <本資料内の色分けの意味>

記述内容の種別が分かりやすいように色分けしてあります。

(OpenOffice の色 : ココフォリアの色)

赤色(青 4:0000ff) : シナリオ中での描写例(時折赤色にもなる)

緑色(ターコイズ 4:669900) : ロール等のシステム処理メッセージ

青色(紫 8) : KP 向け情報(公開はしない)

赤色(赤 5 : 990000) : システムメッセージや危機的状況で雰囲気を出したい時

黒色 : その他処理を行う上での条件などの記載

### <KP 画像的作業>

- ・背景画像をアップロードし、前景画像として表示、シーンとして登録する
- ・カットイン画像をアップロードし、カットインとして登録する
- ・マップをアップロードし、スクリーンパネルとして登録する
- ・NPC 関係の立ち絵用意

PL 発言と PC 発言を分ける意味で、

PL としての行動や発言は PL(アカウント名)のようにして文字色黒にしてみらうとわかりやすい。



## 2. シナリオの概要と目的



物語は探索者達が夢を見る場面から始まります。  
探索者は目を覚ますと、バスの中で揺られていました。

目の前に見覚えのない少女がいます。なのに貴方達は友人のように仲良く談話し、  
やがて相手から『とある映画』についての質問を受けるでしょう。

この夢は、後述する『蕨野雫』の記憶を投影したものです。  
蕨野雫が失った過去の思い出を、探索者は蕨野雫の器に入って  
映像として覗き見していたのです。

実はこの『少女』——『波戸岸ドルー』は神話生物です。  
この夢では儂げな少女に擬態していますが、  
その正体は見る者の正気を削り取る悍ましい化け物——『ショゴス・ロード』なのです。  
人間社会で猛威を振るえば、簡単に文明を崩壊させるだろう異形の生物。  
この『ドルー』は今、その存在を危険視した魔術師(エリクシア=カータレット)によって  
夢の世界に封印されています。

しかし、神話生物は世界に悪意を持っていません。  
ドルーがただ望むのは、最愛の人である蕨野雫を守り彼女と平凡に暮らすことだけ。  
その願いは蕨野雫も同じであり、蕨野雫はドルーを助けるために、  
何度も『夢見』の魔法を用いては彼女を救い出そうとしています。  
しかしながら、世界を守ろうとする魔術師に阻止され続けてきました。

『夢見』の魔法は使用者の命と正気、そして記憶を奪います。  
何度も魔法を唱えた蕨野雫は、もはや健全な精神を失いつつありました。  
愛する人が、自分を救うため破滅に突き進んでいる。  
その事実にはドルーは耐えられず、探索者達に助けを求めたのです。

あなた達の目的は、場合によっては分かれるでしょう。  
ドルーと蕨野雫に同情し、哀れな神話生物の封印を解くのか。  
あるいは魔術師に賛同し、世界の平和を守るために非情な判断を下すのか。  
それとも——。

蕨野雫の灯火はあとわずかです。果たして全てが終わった時、  
どんな結末が待っているのでしょうか。

**時間制限あり、ロストの可能性あり**です。



## ゲームの大まかなルート



### <オープニング>

#### 探索者達が奇妙な夢を見る

- ・波戸岸ドルーと蕨野雫の思い出。



#### 謎のワンルームで目覚める

- ・部屋には探索者達と蕨野雫がおり、以降蕨野雫が同行する



#### 探索中に放火され、確定で死亡する

- ・世界を守ろうとするエリクシアが、『夢見』で封印内に侵入した蕨野雫を殺そうとする
- ・探索者は巻き添えを喰らって確定で死亡する



#### 『死に戻り』してまたワンルームで目覚める

- ・蕨野雫が『夢見』を使うことで探索再開
- ・蕨野雫は魔法の影響で正気を失いつつある
- ・放火されることを前提に対策を取る必要がある(脱出・あるいはエリクシアへの奇襲)



#### ・放火される前に脱出する

- ・以降、放火で蕨野雫を仕留められなかったエリクシアが追跡
- ・エリクシアとのかくれんぼをしながら街を探索することになる



#### ・街を探索して真相を突き止める

- ・館は蕨野雫が失った記憶と、波戸岸ドルーと、エリクシアの記憶が混ざり合っている
- ・蕨野雫による波戸岸ドルーの封印を解くための情報と、エリクシアによる『ドルーの正体および危険性』の情報が混ざり合っている
- ・蕨野雫に賛同する場合は、エリクシアを倒して封印を解く必要がある
- ・エリクシアに賛同する場合は、蕨野雫を精神的に殺すか説得する必要がある
- ・波戸岸ドルーはもちろん解放されたがっているが、そのために蕨野雫が犠牲になることを良しとはしない



## ・エピローグ

こちらの想定エンドは以下。

- ① 蕨野雫とエリクシアを説得せず、蕨野雫の目的通り波戸岸ドルーの封印を解く  
→結果的に蕨野雫を苦しめた存在を波戸岸ドルーは許さず、波戸岸ドルーがエリクシアを惨殺する  
探索者達は生き残るが『これで本当に良かったのか……？』エンド
- ② 蕨野雫とエリクシアを説得した上で波戸岸ドルーの封印を解く  
→ドルーは憤慨しているが、蕨野雫にたしなめられて矛を収める。トゥルーエンド
- ③ エリクシアに賛同して蕨野雫に反発する  
→蕨野雫が死んだ後、普通に目覚める。何事もなく平凡な日々に戻るが、  
蕨野雫は発狂死するだろうと想像して『本当にこれでよかったのか……？』エンド
- ④ 蕨野雫に反発しないまま蕨野雫が規定回数死ぬ  
→蕨野雫が永久の狂気に囚われた状態で『夢見』を発動。  
巻き込まれた探索者達はそのまま狂った世界に閉じ込められる。ロストエンド。



### 3. ゲームの前に(KPへの備忘録を兼ねる)



プレイ前にご連絡。主にログとか進行関係です！

+++++

ココフォリアで背景を切り替える際、  
ログに画像が表示された記録を残すため、  
『カットイン\_●●』などを表示します。  
特にミスではないのでお気になさらず。

なお、画像はAIで作成したものであり、イメージ映像です。  
画像からの推理はできませんのでご注意ください。

+++++

雑談はココフォリアの「雑談」タブを使用ください。  
ココフォリアはログに時刻情報が出力されないため、  
Discordのログと連結できないためです。

+++++  
ぶち卓では目星不要でもわかる情報はぱっと出すかわりに  
「とりあえず目星」を封印しています。

+++++

KPの文章が長くなる時は、  
終わった時に最後に">"を発言します。

トランシーバーのようなもので、">"が表示されたら  
「発言終了です、どうぞ」の意味になります。

+++++

なお、今回の卓は『怖さ：こわいかも(工モ重視)』  
『難易度：そこそこおたかめ』でお送りします。

+++++

今回もBGMを導入しています。

『音出るのいやん』って人は画面上部の  
スピーカーっぽいボタンを押してミュートしてください。

+++++

では時間になりましたので、ぷち卓 CoC、しめやかに開催します。  
一応後でログを見やすくするために、PLさんの自己紹介と、  
探索キャラ(PC)の自己紹介を軽くお願いします！

ちなみにこれも後で確認するために。キャラシートはこんな感じですね。

PL:こーてる PC:近江 七海 (このえ ななみ)

<https://iachara.com/char/edit/4536961>

PL:しもやけ PC:古瀬 歩 (ふるせ あゆむ)

<https://charasheet.vampire-blood.net/4666561>

なお、前もってお伝えしておりますが、  
本シナリオは時間制限あり、ロストの可能性あります。  
探索者が幸福な結末を迎えられるよう祈ってます！  
ということで本編描写に入りますね。



#### 4. 開催情報



<シナリオ名> 『君と過ごした泡沫』

<予定日時>

日時 : 10/08(土) 10:00~

※一日で終わる予定ですが、終わらなかったら次の日に順延

犠牲者 : こーてる、しもやけ

場所 : <https://ccfolia.com/rooms/wjVgnNMk4>

見学 : ココフォリアの[雑談]タブをご利用ください。

<シナリオ>

- ・話の傾向 : こわいかも(エモ重視)
- ・タイプ : 広範囲クローズド
- ・難易度 : そこそこおたかめ
- ・参加人数 : 2人
- ・ロスト : わりとあり
- ・推奨技能 : 探索で使えそうな探索技能  
『考古学』・『隠れる』

<その他>

- ・細かい条件は付けませんが、  
探索者達は友人同士としてください。
- ・るるぶ未所持OK



## 5. プロローグ

では、しばらくは描写が続きますので「>」が出るまでお待ちください。

……Scenario Start.

その日貴方はいつものように、自室の寝床で目を閉じるでしょう。眠りの世界を旅する貴方は、どこか不思議な夢を見ました。

【カットイン\_バス】



バスに乗って揺られています、貴方の隣には『少女』がいました。二人掛けの狭い座席で貴方と少女は寄り添いあっています。互いの肩が触れ合うほどに。

【カットイン\_謎の少女】



貴方は『少女』の事を知りません。  
ですが彼女は当然のように話し掛けてきました。  
まるで親しき相手であるかのように。

『ねえシズク、今日は楽しかったね』と。

貴方は『シズク』という名前ではありません。  
なのに、なぜか当然のように頷くでしょう。  
彼女が誰かもわからないのに、彼女に好意を覚えるでしょう。

『少女』は貴方の肩に頭を乗せて、貴方に体重を預けてきます。  
心地よい沈黙がしばらく続いて、再び『少女』が口を開きました。

『ねえシズク、昔見た映画——○%&! 2 ■@を覚えてる?』

貴方は目を伏せ首を振ります。  
『少女』は哀しそうに笑って、内容を教えてくれました。  
囚われの恋人を助けるために、禁忌の魔術に手を染める娘の話。

やはり貴方に覚えはありません。でも、なぜだか胸がざわめくでしょう。  
貴方の本能が告げています。確かに記憶には存在しない、  
なのに『経験したことがある』ような……。

『少女』は悲しそうに眉根を寄せて、  
さらに一言付け加えました——。

◆ ◇ ◆

『覚えておいて。この物語はホラーなの』、と。

◆ ◇ ◆



そこで貴方は目覚めます。それ自体は自然な事ですが、  
眼下に広がる光景は明らかに異常なものでした。

【カットイン\_ワンルーム】



まるで見覚えのない天井。ワンルームアパートの一室でしょうか。  
少なくとも自分の部屋ではありません。

生活感のある部屋ではありました。ですが、  
どこか退廃的な空気が漂っています。  
さらに周囲を見渡すと、貴方と同じように転がっている人間が2人。  
一方は貴方の友人。もう一方は——まったく知らない女性です。

どうして一体こんなところに？ そしてこの女性は誰？  
貴方は不可解な状況に不安を滲ませつつも、  
現状を把握するべく動き始めるでしょう——。

ではここから探索をお願いします。>



## 6. 情報ソース



### 6.1. 大前提のルール

シナリオの舞台は『夢の中』である。

魔術師であるエリクシアが夢の世界で構築した『封印の地』に対し、  
蕨野雫が『夢見』で介入している。

このためこの空間は、『エリクシアの記憶』と『ドルー & 雫の記憶』により構成される。

あくまで夢の世界であり、ここで死んでも現実世界で死ぬことはない。

ただし雫は死亡するたび、彼女は『夢見』を唱え直す。

その影響で雫の精神は深刻なダメージを受け、記憶と正気を失っていく。

雫が耐えられる死はX回まで(難易度調整で変更する)。

夢の中で規定回数死んだ場合、彼女の精神は完全に崩壊する。

その状態で『夢見』を使うと、探索者は巻き添えを喰らい破綻した世界に幽閉される事になる。



## 6.2. 本シナリオでの探索マップ



本シナリオは行ける場所が固定された半クローズドなシティーシナリオとなる。

『夢の世界』という閉鎖空間として見ればクローズドであり、  
『移動範囲に野外も含まれる』という観点であればシティーとなる。

探索者はとあるアパートの一室で目を覚まし、やがてそこを飛び出すだろう。  
外は夢の空間なので、探索者達が想像をすればその建物が具現する。  
ただしベースは『ドルー・雫・エリクシア』の記憶となっているため、  
彼女達の記憶に結びつかない場所は探索しても無意味である。

行動範囲を制限しないために、シティー用のマップは存在しない。  
行ける場所として用意されているのは以下の建物となる。

●ワンルームのアパート(スタート地点)

神話生物の少女——『波戸岸ドルー』が暮らしていたアパート。  
相思相愛の『蕨野雫(わらびやしずく)』と同居していた。

↓以下はワンルームの部屋を調査すると候補に挙がるだろう場所

●壊滅した都市(アパートの外)

エリクシアが持つ記憶。ドルーと同じ種族である  
『ショゴス』および『ショゴスロード』が暴れたことで壊滅した都市の姿。  
ただしこの破壊を行ったのは同種の別個体であり、ドルーは罪を犯していない。  
都市はドルーが住んでいた街だが、廃墟具合にエリクシアの記憶が投影されている。

●図書館(探索者のリアルアイデア)

探索中には出て来ない場所。蕨野に質問するか、  
リアルアイデアで行けるようになる。  
探索者が欲しい情報で手に入りそうなものはここで出してあげるとよい。  
本来は図書館で手に入らなそうな情報も出してよい。  
なぜならこの世界は『ドルー&雫&エリクシア』の記憶で構成されている世界のため。  
どう考えても図書館で手に入るはずがない情報を入手した際は  
アイデアを振らせてここが夢であることを気づかせてもよい。

●映画館(映画館の雑誌から想像)

雫とドルーが過去に見たことのある映画が上映されているシアター。  
雫が『夢見』の能力を身に着ける動機を生んだ場所。  
設備は見るも無残に破壊されており、映画を鑑賞することはできない。  
ただし情報としてパンフレットを見つける事ができる。

●旧き遺跡(遺跡のミニチュアから想像)

ドルーの故郷であり、エリクシアがドルーの正体に気付く切っ掛けをもたらした場所。  
イメージとしては狂気山脈に出てくる古きものの遺跡。

●封印の洞穴(エリクシアの記憶を取得することで到達可能)

ドルーが魔術師によって封印された場所。  
神話生物のドルーがそのままの外見で封印されている。  
封印を解くには魔術師を説得するか無力化している必要がある。

## 6.3. 登場人物

### 6.3.1. 波戸岸(はとぎし)・ドルー



神話生物の少女であり、その正体はショゴス・ロード。

(shoggoth lord→shggh lrd→drl htgghs→dr htgs→ドルー ハトギシ)

旧き遺跡に閉じ込められていた個体が目覚め、あてもなく放浪しているところを後述の蕨野雫(わらびやしずく)に発見される。

発見時に名前はなく、蕨野雫が種族名のアナグラムから命名した。

元々が奉仕種族のため、自分を受け入れてくれた雫を病的に愛している。

長年雫に教育されたため、それなりに倫理観を身につけており、基本的に悪意はない。

ただし雫に害なす存在には容赦がなく、たびたび事件を引き起こしている。

もっとも雫と出会ってから人間を殺傷した事はない。

雫と平和に暮らしていたが、後述するエリクシア=カータレットによって

『野放しにするわけにはいかない』と封印される。

雫と引き離されたことを悲しんでおり、解放されて再び雫と寄り添えることを願っているが、自身を解放するために雫が傷つき壊れていくことを悲しんでいる。

---

**波戸岸ドルー(はどぎしどるー) - 愛を覚えた醜き異形 -**

神話生物であり、かつ彼女が戦うことはないため

キャラクターシートはなし

データを使用する際はショゴス(P181)の値を強化して適用する

正体を見た際のSAN チェックは1D10/1D24

※今まで助けようとしていた可憐な少女が  
バケモノであったことを知ることになるため、  
標準より減少値を多めにしている

---



### 6.3.2. 蕨野雫(わらびやしずく)



ドルーと相思相愛の中性的な女性。外見的には20代の女性だが、ドルーが『ずっと一緒に居たい』とショゴス細胞を注入しており、実年齢は100を超えている。

放浪するショゴス・ロードと出会い、『ドルー』と名前を付けて人間としての倫理観を教えこんだ。

二人で平和に暮らしていたが、(別個体のショゴスロードに)故郷を滅ぼされたエリクシアがドルーを一方向的に封印した結果、不定の狂気に陥ってしまう。

元々ドルーの手によって様々な冒濫的な知識と経験を積んでいた雫は、『夢見』の呪文を使って封印の地へドルー救出に向かい始める。ただし侵入するたびにエリクシアの返り討ちにあっている。

元々ドルーとの生活で正気を削られていた事に加え、『夢見』で精神を摩耗している。

『夢見』は正気と精神力と記憶を奪うため、発動を繰り返すたびに雫は壊れていく。

本シナリオ開始時点で雫の精神はすでに危機的状況にあり、

数回『夢見』を使えば彼女は精神の死を迎えるだろう。

### <演じる際の注意点>

最初は理知的で柔和な話し方をするが、『夢見』を重ねるたびに危うくしていく事。

また夢見を繰り返す事で記憶を失っていき、2回目の死亡後は映画館に行かないと

ドルーの事すら思い出せなくなっている。

また夢見を3回した後は、自分に友好的な反応以外は受け入れない。

彼女には『好感度ポイント』があり、好感度が高い場合のみ探索者に事情を打ち明ける。

---

蕨野雫(わらびのしずく) -人外と結ばれた元人間-

<https://charasheet.vampire-blood.net/4666104>

STR18 CON38 POW10 DEX10 APP15 SIZ10 INT13 EDU18

HP24 MP12/18(夢見で一部使用済み) SAN90(現在値は20)

精神的従属(強化版)(P266)の魔法が使える

※シヨゴス細胞を注入されているため、人外的な性能を誇る。

ただし夢見を続けるたびに最大HPは24→20→16→12と4刻みで減らしていくこと。

CONも38→30→20→10と減っていく。

※記憶を失う事で自身を明確にイメージできなくなって弱体化していくため

---

### 6.3.3.エリクシア=カータレット



善にして正義の魔術師。かつて平和に暮らしていたが、  
残虐なショゴス・ロードの手により  
2011年に都市が壊滅して住処を追われている。  
この『都市破壊』の実行者がドルーであると誤認しており、  
その存在を許す事はない。

『ショゴス殺し』の旅の中、ドルーがショゴス・ロードである事を突き止める。  
このためドルーの排除を画策するが、明らかに格上のため  
不意打ちの末に封印するにとどまった。

ショゴスに対する敵意を除けば、極めてまっとうな善人である。  
このためただの人間である蕨野雫を殺す事まではできなかった。

しかし雫が『夢見』を使ってドルーを解放しようとする事は看過できず、  
やむなく夢の中で雫を排除している。  
この『いたちごっこ』を繰り返すうち、彼女も徐々に過激化してゆき、  
夢の中で蕨野雫を問答無用で殺害するようになった。

これは彼女自身の正気も削られている上に、  
『どうせ夢の中で死亡しても現実では生き返る』ためである。

ドルーや雫に味方する場合、エリクシアは『敵』として対峙する事になる。  
ただし特定の条件で説得をする事が可能である。

-----  
なお、かなり扇情的な格好をしているが、趣味でこうしているわけではない。  
彼女は7歳にして孤独となったため、悲惨な人生を送ってきた。  
その過程で『男を操るにはこの格好が有利』と打算的にこの格好をしている。  
-----

**エリクシア=カータレット - 人類を保護する善の魔術師 -**  
**<https://charasheet.vampire-blood.net/4666107>**

STR8 CON10 POW18 DEX15 APP15 SIZ8 INT11 EDU14  
HP9 MP18 SAN90(現在値は30) 装甲12

敵キャラなので技能はなし。その都度必要に応じて設定すること。  
夢の世界ではほぼ無敵。  
『肉体の保護(P275)』

技能：(優先的に蕨野雫を狙う)  
CCB<=99 【断罪の聖剣】  
相手がショゴスの場合のダメージ：1D16+4  
人間の場合：1D10

CCB<=99 【ヘルメス・トリスメギストスの毒塵】  
相手がショゴスの場合のダメージ：2D6  
※人間には効果がない

その他戦闘で使用はしないが持っている技能  
『生命の察知(P266)』  
『ナーク・ティトの障壁(P274)』  
『ヘルメス・トリスメギストスの毒塵の作成(P280)』  
-----

## 6.4. 探索で得られる情報



### 6.4.1. 薄汚いワンルーム



スタート地点となるワンルーム。ドルーと雫は昭和の時代からここで暮らしており、調度品は古いものと新しいものがごちゃ混ぜになっている。



#### ● 『女性』 に声を掛ける

シアンがかった髪色の中性的な女性です。  
貴方達が見ている事に気付くと、彼女は柔和な笑顔で声を掛けてきました。  
【カットイン\_中性クール】



「どうも。正直状況が把握できてませんが、  
貴方達は何か知っていますか？」

※嘘。雫は『夢見』を使って自らこの世界に侵入しており、  
ここがかつての自分達の住処である事を知っている。  
だが異分子である探索者達が敵なのか判断がつかないため警戒している状態。

※夢見初回のみ探索者達を『知らない人』として扱う。  
死亡後は探索者と自己紹介が終わった状態で始まる。  
ただし別の記憶は失われており、  
1 回目の死亡後：ところどころ記憶が曖昧になる  
2 回目の死亡後：道案内ができなくなる&ドルーの事を忘れる  
3 回目の死亡後：ほぼ何もわからない

●自己紹介した上で状況を聞く

「私の名前は蕨野雫(わらびのしずく)。  
見ての通り、何の変哲もないただの中性クールです」  
「私もよくわかりませんね……どこか懐かしい気もするんですけど」

※嘘。雫は探索者達を警戒しているので、  
好感度が上がるまでは情報を出すことはない。  
※死亡後は記憶があいまいになっていき、本当に忘れてしまう

### ●周囲を見渡す

貴方は周囲を見渡します。

どこか昭和の雰囲気漂う六畳一間のワンルームです。

手に届く範囲にはダンス、ちゃぶ台、本棚があります。

遠くには外に繋がる玄関、そして外光を取り込む窓。

キッチンと脱衣所もあるようです。

生活感が漂っており、設備は酷く古ぼけています。

決して綺麗とは言えないでしょう。>

### ●『映画館』でパンフレットを藤野雫に見せている場合

再び再開されたワンルームですが、藤野雫がふらふらとよろめきながら、

畳の床をはがし始めます。そこには床下収納があり、

一冊の日記が納められていました。

「……完全に忘れていました。ドルーとの幸せな思い出を。

ははっ、大馬鹿者ですね。私はあの子との生活を取り戻すために

頑張ってきたのに」

「まだ平和だった頃、二人でここに隠すと決めたんです。

理由は特にありません。ドルーが、

『大切なものだから安全な場所に保管しよう！』って」

### ●藤野雫から心を閉ざされている場合

「……先にお伝えしておきますね。

この日記は私達にとって大切な思い出であり、

二人だけの秘密です」

「お見せする事はできませんが、どうかご容赦願います」

●蕨野雫からの信頼を勝ち取っている場合

「さあ、みんなで読みましょう。貴方達にも知って欲しいです」  
……読みますか？>

●読む

では、貴方達は蕨野雫に促されるまま、古ぼけた日記を開きます。  
重要部分を抽出した内容を以下に記します。

【音楽：死亡】

-----  
<1911年7月7日>

この日、私は『ドルー』と出会った。  
趣味のお寺巡りをしていたら、人型のヘドロが近づいてきたのだ。  
勿論私は悲鳴をあげた、『キワアア!?!』と。  
ホラーは正直苦手だから。

腰が抜けてしまった私に、ヘドロが近づいて来る。  
鳥が囀(さえず)るような声で、『大丈夫?』と優しい言葉。  
大きく目を見開いた。私、ヘドロに心配されてる?  
.....

その外見とは裏腹に、彼女はとても優しかった。  
『シヨゴス・ロード』という生物らしい。  
最近まで南極大陸の奥地にある遺跡で眠っていたそうだ。  
そして長い放浪の末、ここ日本にたどり着いたのだとか。

……正直ツッコミどころ満載ではあるが、  
彼女の存在そのものが非現実的なので目を瞑ろう。

今はヘドロの彼女だけれど、なんにでも『擬態』できるらしい。  
ヘドロのままだと落ち着かない、人間の少女になってもらおう。  
そして彼女は『人間』になった。外見的にも完璧に。  
はは、もう何があっても驚くまい。

名前がないと不便だろう。アナグラムから名前を作る。  
そう、彼女はこれから『波戸岸ドルー』だ。

.....

.....

.....



<1991年9月11日>

ドルーと映画を見に行った。

『君と過ごした泡沫』、苦く切ないホラーらしい。  
いやいや勘弁して欲しい、ホラーは本当に苦手なのだ。  
だが残念、ドルーは大のホラー好きである。  
押し通されて映画館へ。

正直言って見くびっていた、予想よりずっと素晴らしかった。  
エンドロールが流れる間、二人でボロボロ涙をこぼす。  
鑑賞が終わり感想会。マックでポテトを貪りながら、  
ドルーが語り掛けてきた。

「ねえシズク。もし私がああの映画みたいに、悪い奴に捕まったら。  
シズクは助けに来てくれる？」

私は苦笑しながら答えた。

「どう考えても私が助けられる側だと思いますけど。  
まあでも、そうですね。命に代えてでも貴女を助け出しますよ」

「そ、そこまでは求めてないけどなあ……  
映画と同じ結末は勘弁だよ？  
まあでもいいや、なら『夢見』の魔法教えてあげよう」

「え、あの魔法ってホントにあるんです！？」

「あるよー。多分あれ、実話を元にしてるんじゃないかな？  
ほら、ファクションって奴」

「フィクションですね。さらに言えばノンフィクションです」

こうして私は『魔術師』になった。  
いやまあ発動条件が厳し過ぎるし、実際使う事はないだろうけども。  
どうせ教えてくれるならもっと便利な奴にして欲しい。  
なんて、ドルーの細胞を取り込んでる時点でもう十分か。

.....  
.....  
.....

<2017年10月7日>

物語が現実になってしまった。『世界平和』を口にするシスターに、ドルーが封印されてしまったのだ。

あっという間の出来事だった。  
ドルーと二人で歩いていたら、いきなり襲い掛かれて。  
彼女が魔法を唱えた瞬間、ドルーの姿は消えてしまった。

殴り掛かる私を押さえつけ、  
狂人ことエリクシア=カータレットはこう語る。

『ショゴス・ロードは許されざる存在です。  
私の故郷は奴に滅ぼされました』

『貴女は惑わされていたのです。奴は人間と同等の知能を持ち、  
取り入り、墮落させ、破滅させる』

『ゆえに夢の世界に封印しました。  
本当は完全に破壊したかったのですが……  
私の力ではこれが精一杯』

『理解できないかもしれませんが。でも、これが最善だったのです。  
どうかアレの事は忘れて、平穏な日々を取り戻してください』

そして女は去って行った。私から幸せを奪いとり、  
笑顔を浮かべて去って行った。

ふざけるな、あの女は誤解している！

ドルーが故郷を滅ぼしたと!? 明らかに矛盾しているだろう!  
私がドルーと出会って以来、街を滅ぼした事なんてない。  
……まあ、私に危害を加えた相手に『制裁』した事はあったけども。  
つまりは単なる『人違い』、ドルーが封印されるいわれはない。

それとも、『ショゴス自体が危険だから封印する』のか!?  
ふざけるな。そんな人間だって同じだ。善人もいれば悪人もいる。  
ドルーは、誰よりも『いい子』だったのに……!

絶対に助け出してやる。幸か不幸か、私は『夢見』を習得済みだ——。

-----

全てを読み終えた後。  
蕨野雫は貴方達を正面から見据え、  
静かに口を開くでしょう。

「……と言うわけです。なんて、私も『夢見』の影響で  
忘れていた事が多々ありましたが」

「私はあの女——エリクシアと一戦交えようと思っています。  
一人では勝てませんが、貴方達となら戦える」

「お願いします。どうか、私に力を貸してくれませんか？」

### ●タンスを調べる

女性ものの衣類が入っています。ブラやショーツなどの下着から、  
Tシャツやジーンズなどのトップスやボトムスも  
綺麗に整頓されていました。

### ●アイデア/衣類の傾向やサイズを見ると宣言

では、貴方は気づくでしょう。  
衣類には大きく分けて二つのサイズがあることに。  
どうやらこのタンスには二人分の衣装が詰められているようです。  
※ドルーと雫、二人がここで暮らしていた痕跡  
※アイデアで片方のサイズが蕨野雫に合致する事が分かる

### ●ちゃぶ台を調べる

昭和を思わせる木製のちゃぶ台です。  
ただしかなり損傷しておりキズやひび割れが目立ちます。  
端っこには彫刻刀で相合傘が彫られていました。  
『ドルー』『シズク』、2つの名前が彫られています。

●この彫り物について藤野雫に聞く

●死亡が1回目までの時

「……確かに、これは昔うちにあったちゃぶ台ですね。懐かしい」

●死亡が2回目以降、かつ映画館に行っていない時

「なんでしょう……懐かしい感じはするのですが、なぜか思い出せません」

●本棚を調べる

古ぼけた本棚です。

飾り棚としても使っていたのでしょうか、  
フィギュアなどの小物が飾ってあります。

不気味な黒い人形と、古代遺跡の柱のようなミニチュアです。

さらにはデジタル式の時計も置いてありました。

いくつか書物もあるようですが、うっすらと埃をかぶっています。

### ●フィギュアを調べる

では、貴方はそのフィギュアを観察するでしょう。

【カットイン\_フィギュア】



一言では表現しがたい、なんとも悍ましいフィギュアです。  
人間のような姿ではありますが、表面は異常に黒く、  
端的に『化け物』だと判断する形状でしょう。

長く視界にとらえていると、  
心がざわめき耐えようのない恐怖心が沸き起こって来ます。  
SANチェックをお願いします。(0/1)

※ドルーが雫と出会った頃の、人間に擬態していない状態のフィギュア

※雫が心を開いていない場合は、触れても大した情報は出て来ない

#### ●まだ心を開いていない状態で藤野雫に話を振る

「個性的な人形ですね。でも、見ようによっては可愛く見えませんか？」

#### ●心を開いた後(カミングアウト後)で藤野雫に話を振る

「これは、私がドルーと出会った時の、当時の彼女の形状ですね。  
あ、今は可愛い女の子になっていますよ」

#### ●映画館で記憶を強化しないまま、2回以上死亡している状態で藤野雫に話を振る

「なんでしょうね、この人形……飾るには少し悪趣味な気がしますが」

### ●ミニチュアを調べる

では、貴方はミニチュアを観察するでしょう。

#### 【カットイン\_ミニチュア】



古代遺跡の柱のようなミニチュアです。ですが奇妙に湾曲しています。  
技能『考古学』か『知識 1/2』で振っても構いません。

### ●考古学で成功

考古学に精通した貴方は、すぐに気づく事でしょう。  
今日の前にあるミニチュアは、一般的な古代遺跡のものとは  
一線を画しており、明らかに異質である事に。

↓※さらに以下に続く

### ●知識 1/2 で成功

博識な貴方は思い出します。1930年に発行されたニュースの記事を。

『凍れる地で発見された異質の古代遺跡』。  
残念ながら遺跡を発見した探検家は発狂してしまい、  
詳細な情報は残っていません。  
ですが、彼の持つカメラに歪な古代遺跡が写っていたのです。  
目の前のミニチュアは、その遺跡の建造物に似ていると感じます。

### ●書物を調べる

では、貴方は書物の傾向を調べるでしょう。  
雑誌が多い印象で、特に映画雑誌がその大半を占めています。  
かなり古いものもあるようです。

また貴方がとある雑誌をめくった時、中から紙片が舞い落ちました。  
どうやら映画館チケットの半券のようです。

タイトルには『君と過ごした泡沫』と印字されており、  
その下に『1991 09/11 栄悠遠シネマズ』と記載されています。

### ●栄悠遠シネマズについて雫に聞く

雫は貴方の問いかけにこう答えるでしょう。

「その場所なら知っていますね。

小さな映画館ですよ、よく友達と行ったものです。

行く事もできると思いますよ……

正直道案内に自信はありませんが」

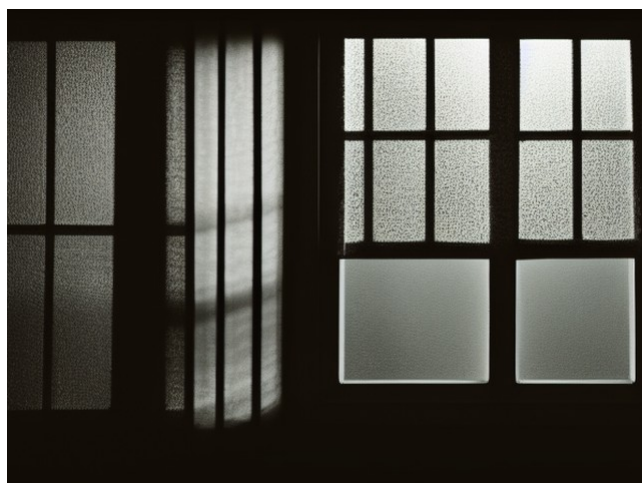
※蕨野の失言。彼女はここがかつての自宅と知っているの  
この家から行けることを話してしまっている

### ●窓を調べる

貴方は窓辺に立ち外を眺めます。そして息を呑むでしょう。

そこに広がる光景は、無。景色が何も『無い』のです。

【カットイン\_窓】



暗くて見えないわけではない、仄かに光はさしている。  
なのに窓から景色が見えない。まるで存在しないかのよう。  
この異常な光景は貴方の精神を苛むでしょう。SANチェックです。(0/1)

### ●時計を調べる

日時を表示できるシンプルなデジタル時計です。

日付は2017年10月7日、時刻は16時●分を指しています。

※シナリオ開始時は午前16時。探索状態に応じて針を進める事。

『死に戻り』した時に時間が巻き戻っている事に気付かせるためのもの。

※日付はドルーが封印された日付。この世界では日付が進む事がない

### ●(KP に)現在の日時を聞く

では、貴方はいぶかしむでしょう。  
貴方の記憶が確かなら、今日は2022年10月8日のはずです。

### ●キッチンを探る

何の変哲もないキッチンです。やはり古ぼけてはいますが、  
洗い物などはなく綺麗に使われている印象です。

### ●脱衣所を探る

脱衣所からはお風呂場が見えています。  
どうやらバスとトイレが一緒になったユニットバスのようなようです。  
一見して目を引くものはありませんが、  
洗面台には2対の歯ブラシが置いてありました。

### ●玄関を探る

何の変哲もない玄関です。  
一切の『遊び』がなく、扉にドアスコープなどありません。  
……と、その時。  
目の前の玄関が、『トントントン』と  
外側から遠慮がちに叩かれました。  
……開けますか？

### ●開ける

では、貴方は扉を開きます。眼前に立っていたのは、  
金糸を纏う西洋風のシスターでした。  
【カットイン\_金髪の女性】



彼女は柔和に微笑みながら、でも有無を言わせぬ迫力で問い掛けてきます。  
「突然ぶしつけで申し訳ありませんが。  
とても大切なことですので、いくつか質問させてください。」



「貴方達は何者ですか？」

「ここがどこかご存じですか？」

(雫はエリクシアと敵対しているので咄嗟に隠れる：シークレットダイス)

「ここに、僅かに紫がかった髪ショートボブの女性が居ませんでしたか？」

(雫を匿う or 雫に対して有効的な反応を示す場合)

「……貴方達は彼女のお友達ですか？」

### ●全ての質問に答える

「なるほど。ご回答ありがとうございました。」

「どうやら貴方達は何も知らないようですね……」

「であれば問題ありませんが、一つだけ進言いたします。」

「決してあの女性——蕨野雫に惑わされる事なきように。」

「彼女の行動は世界の破滅に繋がっています」

「では、ごきげんよう」

金髪の女性はぺこりと頭を下げると、そのまま玄関の扉を閉めました。

※エリクシアは封印の番をしており、

この世界に侵入してきた『異分子』に気付いてやってきた。

探索者達を雫の仲間なのではないかと疑っている。

しかし無実の探索者に余計な深淵を覗かせて正気を削ることもよしとしないため、

こちらからの質問には基本的に答えない。

※この時点での情報では、大した事は答えられないはず。

このためエリクシアは探索者達を『蕨野雫に巻き込まれた被害者』と判断する。

しかし雫の力でこの世界に侵入した以上、雫を殺さなければ探索者達も解放されない。

このため直後に『焼き討ち』という方法で全員を殺そうとする。

### ●エリクシアが居なくなってから蕨野雫を問い詰める

では、蕨野雫は貴方達の問いに対し、苦笑しながら答えるでしょう。

「まるで理解できませんよ。失礼な物言いではありますが、  
『中2病』なんじゃないですかね？」

「そうでなきゃ、あんなはしたない格好をして  
キメ顔で『世界について論じる』なんてできないでしょうよ」

### ●エリクシアが居なくなってからしばらくした後/あるいは蕨野雫と問答をしている最中

——と、その時。

部屋を探索している貴方達の鼓膜に、

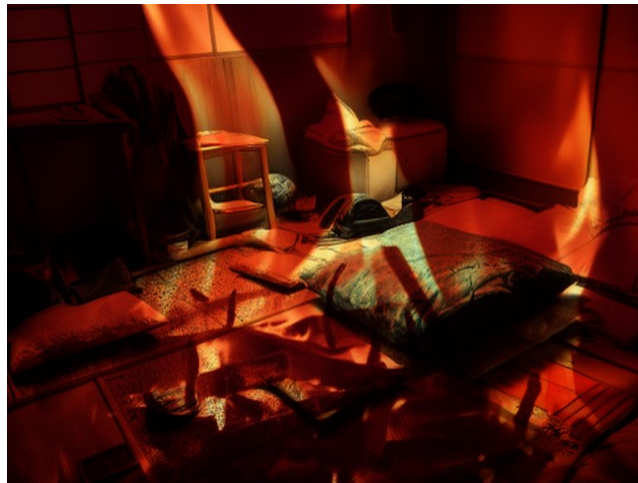
『バリッ』と何かが割れる音が突き刺さります。

貴方達は音の出所を探るでしょう。そしてすぐに『それ』は見つかります。

……窓から投げ込まれた火炎瓶。

炎は瞬く間に畳に燃え移り、部屋は地獄へと姿を変えました。

【カットイン\_炎に包まれたワンルーム】



本能的に悟るでしょう、『ここに留まれば命はない』と。  
事態は一刻を争います。どうしますか？

### ●玄関から逃げようとする

では、貴方達は玄関から逃げようとするでしょう。

そして気づくことになります。

扉が開かない。『外側から固定されている』かのように、  
押してもまるでびくともしません。

●万策尽きる

炎が視界を埋め尽くす。貴方達の身体にも火が灯ります。  
肉が焼け焦げていく臭い、生きながらに焼かれる地獄。

貴方達はのたうち回りつつ、自らの命が  
薄らいでいく事を感じるでしょう。

間違いなく助からない。そう確信した貴方達は、  
祈るように瞼を閉じて、そして――。

→『死亡』 イベント 1 回目(『死亡』)へ。



貴方は再び瞼を開きました。視界に飛び込む光景は、先ほどまで燃えていたはずの古アパートの一室です。

### 【カットイン\_ワンルーム】

あの業火地獄が嘘のように、部屋は静けさを取り戻していました。貴方達は疑問に思うでしょう。『自分は確かに死んだのでは?』と。脳裏に先ほどの惨劇が浮かびます。そして恐怖に背筋を震わせて、貴方達はSANチェックです。(1D3/1D6)

と同時に、傍らの蕨野雫がぼそぼそと何かを呟いています。探索者達は『聞き耳』ロールをお願いします。

#### ●聞き耳に成功した場合

では、成功した方は彼女のつぶやきを聞き取る事ができたでしょう。『また失敗した……どうすればいい……? もう限界に近いのに……』

やがて蕨野雫は顔を上げて、声を荒げて言い放ちました。最初のクールな装いは息をひそめ、鬼気迫る表情です。

「できるだけ速やかに逃げましょう！  
ここに留まっていたらまたあの女が焼き討ちに來ます！」

貴方達はどうしますか？

※夢の中で死んだことで、雫が再度『夢見』を使った。  
これにより世界の時間がリセットされている。  
雫は『夢見』の影響により冷静さを失い、以降、情報を漏らしやすくなる。  
ただし友好度が高くない場合は自分から情報を漏らす事はない。

※聡明な探索者なら、焼き討ちに來たのがエリクシアであると断言する  
雫の言葉に違和感を覚えるだろう。  
探索者が気づかない場合はアイデアを振らせてもよい。

#### ●時計を見る/時刻を確認する

時計がさす日付は2017年10月7日、時刻は16時00分をさしています。

●**時間が巻き戻っている可能性に気付く/アイデア成功**

時間が巻き戻っている。あり得ない事が起きていると  
気付いた貴方はSAN チェックです。(1/1d3)

●**外に出る**

※次ページ参照。

※外に出ない場合はこのまま無限ループ。

ゲーム内感覚で 30 分ほど経過したらエリクシアが襲撃に来る。

難易度設定によっては初回より早めにしてもよい。



## 6.4.2.外



では、貴方達は玄関から外に脱出しようとするでしょう。  
扉は問題なく開きます。しかし、  
貴方達の眼前に広がる光景はあまりに酷く狂っていました。

【カットイン\_外】 【日記 BGM】



世界は無残に朽ち果てている。  
崩れ落ちた家、途中で千切れてしまった電線。  
道を塞ぐ数多の瓦礫。そして――血で染めたような真っ赤な空。

まるで『この世の終わり』のような光景、  
そんな世界に貴方達は佇んでいる。  
この残酷で絶望的な状況に、貴方達の心に霜が降りるでしょう。  
SAN チェックです。(1/1D3)

さらに、探索者達は『知識』ロールをお願いします。

### ●『知識』に成功

では、探索者達は廢墟に想いをめぐらせながら、  
脳内の知識を掘り起こします。ここまで都市が壊滅したのは、  
日本では 2011 年の東日本大震災が最後であると。  
※この世界が現実ではなく、かつドラーが引き起こしたものではないというヒント

### ●周囲を見渡す

御覧の通り、街は完全に崩壊しています。  
まるで大空襲でも受けたかのようです。そして貴方達は気づくでしょう。  
眼前の壊れた街が、貴女達の記憶に存在しない事に。

さらに視線を遠くに向ければ、  
地べたに倒れ、苦しみにうめきもがく人影がありました。

### ●人影に声を掛ける

貴方達は彼に駆け寄ります。スーツに身を包んだ男性、  
しかしその下半身は無残に千切れています。自らの血に染まった男性は、  
うわごとのように声を吐き出しました。

「黒い、ヘドロみたいな奴が、『ぶわ』って広がって……  
街を、壊して、みんな、死んで……」

男はそれだけ呟くと、コトリと生命活動を停止しました。  
人がモノになる瞬間に立ち会った貴方達はSANチェックです。(1/1D3)

● 雫に見覚えがあるかを聞く(2回死ぬ前)

貴方達に問われた雫は、辛そうに目を伏せるでしょう。

「……はい。私はこの街並みを知っています。

過去に住んでいた事がある。

大好きな街でした。一体どうしてこんな事に……」

※心理学をすると本当に悲しんでいるが、

彼女はそれ以外の苦悩も覚えていることがわかる

※この風景はエリクシアの故郷が崩壊した状況を投影している。

エリクシアの故郷はここではないが、

ドルーの記憶と混ざることによってドルーの故郷が崩壊している

さて。何処までも続く荒廃した世界、

あてもなく歩き回ればただ摩耗するだけでしょう。

では行動宣言をお願いします。

※この時点で移動できるとすれば、『映画館』か『遺跡』、

あるいは『図書館』と思われる。

※図書館は直接的なヒントとして出てないが、

とりあえず困った探索者なら情報を集めるために行きそうな場所





### 6.4.3.図書館



※シナリオ上に図書館を示唆する情報はないが、  
探索者が情報を求めて探す可能性がある。  
蕨野雫が2回死んでいなければ先導することが可能。

では、貴方達は蕨野雫の先導で図書館に向かうでしょう。  
5分ほど歩いたでしょうか、やがて洋風のかじやれた建物が見えてきます。

「あれがこの街の図書館ですよ。洋風建築のモダンな建物で、  
住民の憩いの場だったんですけどね」

「……できれば、崩れていない姿を見ていただきたかった」

図書館は半ば朽ち果てており、入り口は無残に吹き飛んでいました。>

#### ●中に入る

では、貴方達は中に入ります。  
【カットイン\_図書館】



瓦礫と共に本が床に散乱していますが、いくつかの本は無事なようです。  
調べものをする事は可能かもしれませんが。

ただし、大量の書物が現存するため、あてもなく見て回れば  
無為に時間を潰すだけでしょう。  
調べものをする場合は、『○○について調べる』と明言をお願いします。>

※汎用の情報プレゼント空間。進行状況に応じて取りこぼした情報を提供してよい。  
※探索に必要そうな情報であれば、図書館ルール不要であっさり見つかる。

※以下想定質問集。

### ●黒いヘドロのような異形について

とある都市に起こった悲劇に関する書物が見つかりました。  
要約した情報を公開します。

-----  
2011年3月27日 イギリスの都市グラストンベリーで  
一部の街が一夜にして崩壊した。  
原因は今でも明らかになっていないが、  
数少ない生存者は皆一様にこう語る。  
「黒いヘドロのような化け物が、街を覆い潰してしまった」と。  
被害者は数万人。生存者はほとんどおらず、  
7歳だったエリクリア=カータレットさんが――。

### ●奇妙に湾曲した遺跡について

とある『怪異』に関する物語が見つかりました。  
要約した情報を公開します。

-----  
恐ろしく奇妙な事に。  
ある一定の期間、一切関係のない複数の人物が、  
揃って同じ夢を見ていたのだ。  
彼らは夢の中で『奇妙な遺跡』を探索していたと言う。

科学的な仮説を立てるなら。  
彼らは現実で得た同じ情報を元に、  
その豊かな想像力をもって、  
夢の中で遺跡を作り上げたのではないか。

そもそも『夢』というものは、脳の記憶整理による産物である。  
だとすれば、夢の中で『実在しない遺跡』を  
歩く事も可能であろう――。

● 『夢見』の魔法について

関連する魔導書が見つかりました。  
要約した情報を公開します。

---

『夢見』

術者は1D3のSANと6ポイントMPを支払うことで、  
他者の夢に介入する事ができる。

ただし夢とは『脳の記憶整理』であり、  
その世界に介入する結果、術者の脳も  
秘術者の記憶整理による影響を受ける事になる。

これにより、『夢見』を行った者は  
自身の記憶を欠損してしまう可能性がある。  
何度も繰り返してしまうといずれ一切の記憶を失い、  
術者は廃人と化すだろう。

---

● 『君と過ごした泡沫』について

同タイトルの小説が見つかります。  
それなりに分厚いハードカバーです、  
全て読むには3時間ほど必要でしょう。

● あらすじだけ読む場合

では、貴方は裏表紙に記載されたあらすじを読みました。  
書かれていた内容をそのまま公開します。  
※パンフレットと同じ内容

※蕨野雫は小説版を読んでない(ドルーは読んだ)。  
ゆえに斜め読みの情報だけでは蕨野雫は『床下収納』の情報を思い出さない。

## ●それでも読んだ場合

貴方は長い時間をかけて、この小説を読み終えました。  
要約した情報を公開します。

※流石に全てを読んだ場合、蕨野雫は記憶を思い出す。  
ただしかなりの時間を留まることになるため、  
『幸運』ロールに失敗したらエリクシアに襲撃される。

---

本作品の主人公は、世界を滅ぼす可能性のある  
冒瀆的な異形と親友になる。

二人は平和に暮らしていたが、  
やがて異形の存在は世界平和を願う  
正義の魔術師に知られる事になった。

異形を危険視した魔術師は、  
秘術を用いて化け物を夢の世界に封印する。  
無理矢理引き離され悲しむ主人公。  
だが、彼女は異形から『夢見』の呪文を学んでいた。

親友の異形を助けるために、夢の世界に侵入する主人公。  
だが侵入者を検知した魔術師に排除される。

『夢見』を繰り返す主人公。  
だが、夢とは本来『不要な記憶を消去する機能』であり、  
その中に飛び込む行為は、『他人の記憶消去処理』に  
巻き込まれる事でもあった。

徐々に大切な記憶を失っていく主人公。  
やがて、自身が何のために『夢見』するのかすら  
わからなくなっていく。  
それでも病的な信念に突き動かされ、  
ついに夢の世界でかつての親友までたどり着く。

だが。その頃にはもう主人公は  
『友達』の記憶を失っており、  
自分が何者かもわからなくなっていた。

『醜悪な異形』に恐れおののきながらも、  
『なぜか』その封印を解く主人公。  
そのまま彼女はこと切れる。精神の死を迎えたのだ。

亡骸となった親友を抱き、異形は黒い涙を流す。  
そして——現世に戻った悲しき異形は、

魔術師の危惧した通り世界の全てを滅ぼした。

---

### ●この街のマップ

タウンマップが見つかりました。

しかし、このマップを見た貴方はうすら寒さを覚えるでしょう。

情報が妙に欠落しています。

まるで普通の人が入る覚えで描いたように、

『知っている場所だけを書きなぐった』感じです。

### ●どんなところが記載されているか聞かれた場合

そうですね。例えば飲食店や図書館、

後は映画館なども記載されています。

生活する上で必要そうな場所は一通り記載されているようです。

### ●普通図書館で出てくるはずがない情報についていぶかしむアイデアロール

貴方は疑問に思うでしょう。いくら知識の宝庫とは言えど、

検索もできない図書館でこうも簡単に望んだ書物が手に入る事に。

『まるで、欲しがらる情報がそのまま「具現」しているようだ』

そう感じるかもしれません。



#### 6.4.4.映画館



※ 2回死ぬ前であれば蕨野雫が先導できる。  
2回以上死んだ場合、蕨野雫は道を忘れてる

##### ●蕨野雫の先導で向かう場合

では、貴方達は蕨野雫の先導で映画館に向かうでしょう。

それなりの距離を歩いたでしょうか。

「蕨野雫は振り向くと、貴方達に声を掛けてきます。

ちょっと遠いんですよね。でも後少しですよ」

そして再び進行方向に向き直り、身体を硬直させました。

……前方から、見覚えのある女性が歩いてきます。

彼女は冷笑を浮かべていました。

「このパターンは読んでいましたよ。

貴女はいつもこのルートを通して映画館に来ますからね」

次に、彼女は貴方達を一瞥するでしょう。

蕨野雫と共にある貴方達を見て、彼女は表情を曇らせました。

→『エリクシアとの遭遇』★★★へ。

●過去の遭遇を教訓に別ルートを辿っていく場合

目の前に映画館らしき建物が姿を現します。  
しかしそこもやはり廃墟になっていました。  
看板には『EIYUEN シネマズ』と書かれています。

【カットイン\_映画館】



●中に入る

貴方達は中に入ります。中も散々に荒れ果てていますが、  
フロントまでは何とか入る事ができました。シアター内に入るのは難しそうです。

【カットイン\_映画館フロント】



室内は勿論機能しておらず、大量の瓦礫に埋もれています。  
何かを探す場合には『○○を探す』と明示した上で宣言願います。

### ●『君と過ごした泡沫』のパンフレットを探す

では、瓦礫の中を漁った貴方は、目的のものを見つけるでしょう。  
酷く古ぼけたパンフレット、表紙には『君と過ごした泡沫』と印字されています。  
ぱらりと中を覗いてみると、あらすじが記載されていました。  
以下に内容を公開します。

---

君は世界に憎まれ消えた。私はそれを許せなかった。  
だから私は繰り返す。君との幸せを取り戻すため。

夢に幽閉された君、私は魔法を唱えて潜る。  
チャンスの代償は『命』と『正気』。  
そしてかけがえのない『記憶』。

虚しいトライを繰り返すたび、君との思い出が消えていく。  
君と過ごした幸せが、泡沫(うたかた)のように融けていく。

これ以上失いたくない、だけど君を諦められない。  
希望の見えない二者択一、それでも私は魔法を唱える。

『夢見』。君を牢獄から救い出すため。  
この狂った世界をさまよう。

---

※パンフレットの発行日を確認すると in 1991 の文字を確認できる。

このパンフレットを見つけた貴方はアイデア-20をお願いします。  
あるいは何か思いつくことがあれば語っていただいても構いません。

### ●アイデアに成功

では、聡明な貴方は気づくでしょう。  
あのアパートで見つけた時計を信じるのなら、  
この世界は2017年10月7日のはず。  
仮に現代だとしても今は2022年です。

対してこの映画が放映されていたのは1991年です。  
リメイクされていれば別ですが、本来ならこのパンフレットが  
2017年の映画館に置いてあるはずがない。  
これまでの体験からも考えて、  
この世界は現実ではあり得ない事に気づくでしょう。  
※ここが夢の世界であり、想像したものが具現することのヒント



### ●パンフレットを蕨野雫に渡す

貴方達からパンフレットを受け取った蕨野雫は、  
静かに目を通すでしょう。その表情には驚きの色が灯り、  
やがて辛そうに眉根を寄せました。

ですが彼女は何も語らず、ただ「ありがとうございました」とだけ告げて、  
貴方達にパンフレットを返すでしょう。

### ●蕨野雫の好感度がある程度高い場合

(会話の流れで)

「一つだけ、お聞きしてもいいでしょうか」

このパンフレットのあらすじを読んで。  
貴方達はどう感じましたか？

### ●主人公に共感する、あるいは理解を示す

「……そうですか。私もそう思います」

貴方達の回答を聞き、蕨野雫は穏やかに微笑みました。

※『蕨野雫のカミングアウト』成立フラグ。

### ●主人公の行為を非難する。あるいは窘める

「……そうですか。まあ、それも正解なのかもしれませんね」

貴方達の回答を聞き、蕨野雫は目を伏せると  
薄く笑みを浮かべました。

※現実の雫も『夢見』を繰り返しており、もはや大半の記憶が失われている。

このため自分でも目的を見失いかけていたが、このパンフレットにより自身の目的を再認識した。

※この世界は夢の世界であり、存在を意識して探した場合のみ対象が具現化する。

探索者がパンフレットを具現できたのは、最初の夢でドルーと繋がっており

その断片を深層心理に刻んでいたため。パンフレットに掛かれた記憶はドルーのものである。

※映画館を出て好感度が高くなっており、

まだ日記を見ていない場合は、

蕨野雫に『すいません、一度部屋に戻ってもいいでしょうか』と促すこと。

アパートは焼け落ちているが床下収納の日記は無事。



### 6.4.5.遺跡



アパートで遺跡のミニチュアを見つけ、  
かつこの世界が『夢の世界』である事に気づけば、  
遺跡が存在する可能性に気付けるはず。

※ 3回死んだ状態で探索者が気づけない場合は救済イベントで気づかせてもよい。

#### ●ミニチュアの遺跡を探す

では、貴方達はミニチュアの遺跡を脳裏に思い浮かべながら、  
あてもなく廃墟の世界を歩くでしょう。  
そして驚いた事に発見します。本来日本に存在するはずのない、  
歪にねじくれた古代の遺跡を。

【カットイン\_古代遺跡外観】



遺跡は歪に湾曲しており、見ていると方向感覚が狂ってきます。  
さらには入り口にたたずむだけで、底知れぬ恐怖を感じ、  
奥歯がカチカチ音を鳴らし始めるほどです。

直感で理解するでしょう。『この遺跡は危険だ』と。  
SAN チェックです。(1/1D3)

### ●入る

遺跡の中を歩きます。建造物は異常な高さを誇っており、  
全てが奇妙に湾曲しています。それでいて作りは精細であり、  
現在の人間に勝るとも劣らぬ高度な文明であったと推測できます。

貴方は疑問を覚えるでしょう。

『これは人間によって作られた遺跡なのか?』と。

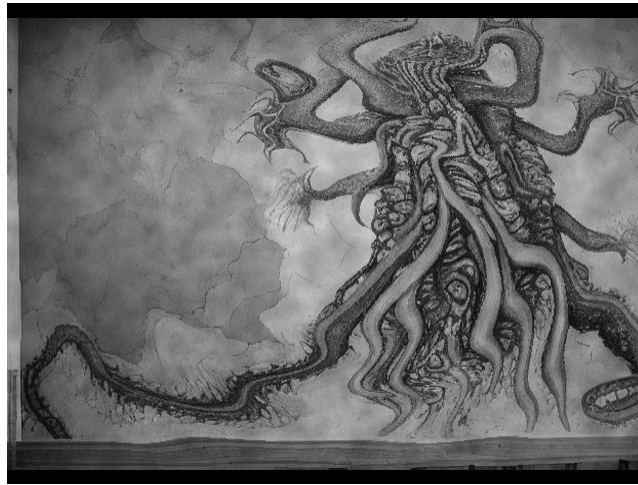
『考古学』 ロールをお願いします。

### ●考古学に成功

では、貴方は確信するでしょう。このような遺跡は例がなく、  
かつ紀元前の人間にはとても築けないオーバーテクノロジーである事に。

そこら中の壁に人語とは思えない幾何学的な文様と、  
どこか冒険的な雰囲気漂う異形の壁画が記されています。  
見ているだけで背筋が粟立ち、脳髄を掻きむしるような怖気に襲われるでしょう。

【カットイン\_壁画】



内容を推測しようと努めるなら『考古学』ロールをお願いします。

●考古学に成功

貴方は過去に培った知識から、壁画の意味をおぼろげながらに推測するでしょう。  
おそらくこの壁画は、文明の歴史を描いているのだと。

-----  
人間とは異なる巨大な古(いにしえ)生命体が、  
ヘドロのような不定形の化け物を使役している。  
しかし、やがてヘドロは反乱を起こし、  
主(あるじ)を捕食して文明を滅ぼしてしまった――。

-----  
貴方はこの文字を読む事はできません。  
ゆえに、これは単なる憶測でしかない。  
しかし、貴方はその『妄想』が真実としか思えないでしょう。

さらには、この屈強な古の者を捕食する『化け物』が実存するのではないか……  
その考えに至り、脳がきしみ始めました。SAN チェックです。(1D3/1D6)

貴方達が歩みを進めると、やがて行き止まりにたどり着きました。

そこで見知った顔に出会います。

あの古ぼけたアパートでこちらを詰問してきた女性です。

【カットイン\_金髪の女性】(エリクシアを敵とみなす場合のみ)【遭遇 BGM】

初対面の時とは違い、女性は硬い表情を見せ、

貴方達に問い掛けるでしょう。

「まさかここに来るとは思いませんでした。

貴方達は何がしたいのですか？」

●「脱出したい」と言う

「ならば答えは一つです。貴方達をこの世界に巻き込んだ張本人……  
蕨野雫を殺しなさい。それで現世に戻れます」

「ここは現実ではありません。所詮はただの夢なのです。  
貴方達は蕨野雫によって悪夢を見せられている。  
脱出するには貴方達を巻き込んだ者を殺すしかありません」

「……なんなら私が手伝いますよ？」

●「真相を知りたい」と言う/「なぜ蕨野雫をつけ狙うのか」を聞く

「街の荒廃を見たでしょう？  
あれは蕨野雫の恋人である異形が暴れた結果です。  
さらにはこの遺跡を滅ぼした元凶でもあります」

「『あれ』を現世に解き放ってはなりません。  
……この遺跡や、私の故郷で起きた悲劇を繰り返してはならない」

「いいですか。私は、世界を守っているのです。  
蕨野雫は世界の安寧を破ろうとしている」

●「雫を、あるいは雫の恋人を助けたい」と言う

「……蕨野雫に惑わされてしまったのですね。  
あるいは貴方達も狂っているのか。  
いいでしょう、ならば貴方達全員を『人類悪』とみなします」

戦闘開始。『エリクシアとの遭遇』イベントを参照。



### 6.4.6.封印の洞穴



※ドルーが封印されている洞穴。エリクシアと対峙し、その存在を暴かなければ来る事ができない。

#### ●エリクシアを説得している場合

では、貴方達はエリクシアの先導で『封印の地』へと向かうでしょう。しばらく歩き続けると、突然世界に洞穴が姿を現しました。

#### ●エリクシアから情報を強奪した場合

では、貴方達は蕨野雫に先導されて『封印の地』へと向かうでしょう。しばらく歩き続けると、突然世界に洞穴が姿を現しました。

【カットイン\_封印の洞穴】



#### ●エリクシアを説得している場合

「ここに、あのショゴス・ロードを封印しました」

「先に言っておきましょう。かのショゴスロードは貴方達が思っているような愛らしい外見ではありません」

「見ただけで脳髓が犯されるような、冒涇的で醜悪な姿をしています。心の弱い者が一瞥すれば、それだけで精神が崩壊しかねないほどの」

「覚悟を決めておいてください。そして、今一度自身に問い掛け直してください。……この『化け物』を、本当に世に置き放ってよいのかを」

### ●エリクシアから情報を強奪した場合

洞穴に入ろうとした貴方達を、蕨野雫がやんわりと制止しました。

「……すみません、ここからは私一人で行った方がよいと思います」

「ドルーは善良な存在ですが、その外見は異形です。

普段は少女に擬態していますが、封印されている以上擬態は解けているでしょう」

「いかに中身が善良とは言え、外見を見たら発狂してしまうかもしれません」

一人で行くと語る蕨野雫に対し、貴方達はどうしますか？

### ●同意する

「ありがとうございます。ドルーの封印を解いてしまえば、もうこの世界に用はありません。『夢見』は解除しますから、貴方達も解放されるでしょう」

「今まで本当にありがとうございました」

蕨野雫は深々と頭を下げた後、独り洞穴の奥に消えていきました。

そのまま二人を待っていると、やがて世界の崩壊が始まります。

ガラガラと瓦礫のように崩れ行く世界。

ですが事情を知っている貴方達が慌てふためく事はないでしょう。

そのままゆっくり目を閉じて、そして――。

シナリオ終了です。エピローグに移行します。

→『エピローグ：悪者の存在しない悲劇』へ。



### ●洞穴の奥に進む

貴方達は洞穴の奥に進むでしょう。

そしてその最奥に、とある人型の物体を発見します。

鎖で繋がれた哀れな姿。……ですが、その外見は、  
精神を苛み悲鳴を上げさせるに十分な『化け物』でした。

【カットイン\_ドルー】 【ラスボス BGM】



貴方達はその正体を知っています。

蕨野雫のパートナー、『波戸岸ドルー』その人です。

ですがその悍ましい形状は、冒瀆的な外見は、

貴方の決意を揺るがす強度を持って

脳に鉄槌を喰らわせるでしょう。

深刻なSAN チェックです。(1D10/1D24)

「ああ、ドルー……なんて酷い目に……」

動揺する貴方達とは対照的に、

蕨野雫は当然のように『異形』へと近寄って行きます。

そして懐から鈍色に輝くナイフを取り出し、

鎖を切りつけ始めるでしょう。

……彼女の行動を止めずに見守りますか？>

●止めない

蕨野雫の刃が鎖を断ち切り、周囲に冒涇的な気が漂い始めます。  
黒い、バケモノじみた『それ』は『うじゆるうじゆる』と緩慢に蠢くと、  
瞬く間に形状を変えていきました。

収縮し、変形し、変色し、『それ』は少女に姿を変えます。  
貴方達は見覚えがある姿でしょう。この狂った世界に来る前に見た夢で、  
一緒にバスで揺られていた可憐な少女です。

【カットイン\_謎の少女】



「ありがとう、シズク。ごめんなさい」

「なぜ謝るんですか。貴女は何も悪くないでしょう？」

「でも。私のせいでシズク、苦しんだよね？」

「貴女のせいじゃないですよ。悪いのは勘違いをしたあのシスター……  
エリクシア=カータレットです」

ドルー\_怒り】

「……そだね。あいつだけは許せない。  
シズクと私を苦しめた恨み、100倍にして返さなくっちゃ」



#### ●エリクシアを説得している

紅い瞳をギラつかせる『ドルー』。彼女の身体が不定形に蠢き始めます。  
ですが、蕨野雫が制止しました。

(BGM を死亡に変更)

「駄目ですよ。確かに彼女は許されない事をした。  
でも報復で殺してしまえば、それは彼女が正しかった事の証明になる。  
貴女が、『野放しにできない危険な生物』と認める事になります」

「ここは許してあげましょう。それが『できた人間』って奴です」

「むっ……シズクがそう言うなら我慢する……」

あっさり矛を降ろすドルーに、エリクシアは目を見開きます。  
そして唇をぎゅうと噛み締めると、深々と頭を下げました。

「どうやら、本当に私が間違っていたようですね。  
申し訳ありませんでした。貴女は、ドルーさんは……  
罪人を許す寛容さすら持ち合わせていました」

「謝って許される事ではありません。  
貴女達が望むなら、跪(ひざまづ)いて傳(か)しず(か)きましょう。  
奴隷としてお使いいただいても構いません」

蕨野雫は肩をすくめて、「そういうのはいいです」と苦笑しました。  
「私達はただ、二人でのんびり暮らせればそれでいい」と。

### ●エリクシアを説得していない場合はここから

そして二人は貴方達の方に向き直り、揃って深く頭を下げます。  
「ありがとうございます、貴方達のおかげで救われました」  
「ありがとね！ やっぱり貴方達に声を掛けてよかった！」

何度もお礼を述べた後。  
蕨野雫が小さな声で呪文を唱え始めて、そして――。

シナリオ終了です。エピローグに移行します。  
※エピローグ：『そして取り戻された泡沫』に移行すること。



## 7. 特定条件で発生するイベント



### 7.1. エリクシアとの遭遇

エリクシアは徹頭徹尾蕨野雫を排除すべく行動しており、夢の中を追跡している。ゲーム時間で30分経過 OR 一か所探索が終わった段階で、ダイスの結果によってエリクシアが接近してくる。

『蕨野雫を疑っている場合』：幸運成功でエリクシアが近寄ってくる

『蕨野雫を仲間と思っている場合』：幸運失敗でエリクシアが近寄ってくる

『隠れる』に成功した場合はやり過ごすことも可能。

——と、ここで。ここで幸運ルールをお願いします。

#### ●エリクシアが近寄ってくる場合

はい。では貴方達が街を歩いていると、誰かが近づいてくることに気づくでしょう。

『隠れる+20』ルールをお願いします。

ただし特に相手を警戒しない場合は振らなくても構いません。

#### ●『隠れる』を選んで成功した場合

では、貴方達は素早く瓦礫の陰に隠れました。

そして息を潜めていると、やがて見覚えのある女性が姿を現します。

【遭遇 BGM】

【カットイン\_金髪の女性】

女性は険しい表情で周囲を見渡しなが、油断なく歩いて行くでしょう。彼女の影が遠ざかる刹那、ぼそりと小さな声が聞こえました。

「早く蕨野雫を見つけなければ……彼女を野放しにしておけば、また世界が危機に晒されてしまいます」

#### ●隠れない、『隠れる』を選んで失敗した場合

では。相手の足音が近づいてきて、

貴方達の前でピタリと止まるでしょう。

見覚えのある女性です。ただしその表情は険しく、油断なくこちらを睨みつけています。

【カットイン\_金髪の女性】

★★★(別イベントから飛んできた場合)

「……なるほど、まだ蕨野雫に同行しているのですか。  
どうやら貴方達全員を『悪』と判断してよさそうですね。  
排除対象とみなします」

「……ですが、一応聞いておきましょうか。  
貴方達は、蕨野雫が何を企んでいるか知った上で  
彼女に手を貸しているのですか？」

### ●エリクシアが納得できる回答を出さない

「わかりました、もう結構です」

女性が右手を宙にかざしました。  
次の瞬間、その手に光り輝く剣(つるぎ)が具現します。  
彼女は剣を握り締め、何かを呟き始めました——戦闘開始です！

【音楽：エリクシア戦闘】

※この世界はエリクシアがドルーを封印するために作り出した世界であり、  
基本的にエリクシアは無敵。勝つ事はまず不可能である。

※ただし、探索者が蕨野雫の目的を知った上で協力している場合、  
蕨野雫は『精神的従属』を使用する。エリクシアの精神を操る事で  
ピンチを脱出し、かつ『封印の地』の情報をエリクシアから強奪することになる。

### ●蕨野雫の日記を元にエリクシアを説得する

エリクシアを説得する条件は、以下の情報を『全て』エリクシアに提示すること。

#### ①エリクシアの故郷を滅ぼしたのがドルーでない事の証明

＜具体的には……＞

ドルーは1911年から蕨野雫と出会っており、その後は一緒に行動している。  
よって2011年にイギリスのグラストンベリーを滅ぼす事はできない事を説明する。

#### ②ドルーが自分より他人を思いやれる心優しい存在である事の説明

『夢見』を繰り返す蕨野雫を心配しており、  
『自分のことはいいから雫を助けてあげて』と言っている事を伝える。

＜具体的には……＞

ドルーは自分が助かる事よりも蕨野雫の崩壊を止めて欲しいと  
探索者達に訴えてきた。『夢見』を使っていない自分達がこの世界に存在し、  
ドルーと会話していることがその証明であると訴える。

### ●説得に成功する

貴方達の話聞いた女性は、迷いつつも戦闘態勢を解くでしょう。

「……正直に申し上げて、全てを信じ切る事はできませんが。  
貴方達の発言に一定の説得力がある事は事実です」

「わかりました。貴方達を封印の地へと案内しましょう。

自身の目で見極めてください。

蕨野雫の愛した『それ』が、解き放ってもよい存在なのかを」

※エリクシアは一応の譲歩を見せるが、

この時点では信じ切れていない。

このため何か問題があれば、すぐに再封印を行う腹積もりでいる。

封印を解くにはエリクシアが心から同意して封印を解除する必要がある。

(ドルーを拘束する鎖を切っただけでは封印は完全には解けず、  
簡単に再封印が可能である)

後述の方法で情報を強奪する場合は、

蕨野雫に『精神的従属』を使われるので

その時点で封印を解除されている。

●**蕨野雫から真相を打ち明けられている場合**

身構えるシスターを前にして、蕨野雫が叫びました。

「お願いします、30秒だけ私を守ってください！  
そしたらあいつを何とかします！」

ただそれだけを口にした後、  
彼女は目を閉じ呪文の詠唱を始めます。

口から紡がれた『音』は冒涇的で、  
およそ人間の理解できる言葉ではありません。

蕨野雫の行動を受け、貴方達はどうしますか？

●**蕨野雫を守り3ターン経過した場合**

——では、蕨野雫の詠唱が終わります。

彼女の身体から漆黒の霧が滲みだし、  
瞬く間にシスターへと纏わりつきました。

途端に動作を停止するシスター。  
まるで糸の切れた操り人形のように  
彼女は地べたに転がるでしょう。

そのまま蕨野雫は瞼を閉じて、何やらブツブツと呟いています。  
数分ほどそうした後に、蕨野雫は破顔しました。

「『精神的隷属』で彼女の脳を支配しました。  
そしてついにわかりましたよ、  
ドルーが閉じ込められている場所が！」

「行きましょう！ ゴールはもう目の前です！」

蕨野雫は興奮した表情で、意気揚々と歩き始めるでしょう。  
貴方達はどうしますか？>



### ●エリクシアに同意して蕨野雫を責める場合

シスターに同意した貴方達は、蕨野雫の前に立ちはだかるでしょう。  
四面楚歌となった蕨野雫は、悲痛な面持ちで貴女達を睨みつけます。

「……所詮、人間はそんなものですか。  
外見が異形というだけで、差別し虐げ葬ろうとする！」

「ドルーが貴方達に何をしました！？ 力を持っているだけで封印する！？  
ふざけるな！ 貴方達こそ……お前達こそ『悪』じゃないか！！」

貴方達を罵倒する蕨野雫の胸に、シスターの大剣が突き刺さります。  
シスターは無表情のまま、崩れ落ちる蕨野雫に言い放ちました。

「狂人の貴方には理解できないのでしょうか。  
あれがどれほど危険な生き物で、どれだけの命を摘み取って来たのかが」

蕨野は言葉を返そうとして、口から血を吐き出しました。  
そのまま彼女はこと切れて、そして――。

シナリオ終了です。エピローグに移行します。  
※『エピローグ：犠牲の上で守られた平和』へ移動すること。

※探索者が完全にエリクシアに同意している場合は、  
そのままの勢いでドルー殺害に動いてもよい。

## 7.2. 『蕨野雫のカミングアウト』

※特定の条件を満たす場合蕨野雫は真実を打ち明けてくる。

※日記の情報を拾えなかった場合の救済イベント。

日記を拾って蕨野雫の信頼を勝ち取っている場合は発生しない。

- ・蕨野雫に好意的に接している
- ・『映画館』でパンフレットを見つけ、蕨野雫に好意的な回答をしている。  
あるいは『図書館』で小説を全部読んでいる
- ・日記を見つけておらず、もう日記を入手できそうにない。  
あるいは日記を見つけた時点では蕨野雫の信頼を得られなかったが、  
現時点では心を開いている

……と、その時。蕨野雫が躊躇いがちに、  
「すみません、ちょっといいですか」と声を掛けてきました。

「貴方達にしばらく同行して、  
貴方達が信用するに足る方達だと悟りました。  
今更で申し訳ありませんが、  
私の知っている事を暴露したいと思います」

そして彼女は語るでしょう。この世界の真相を。  
以下、蕨野雫が明かした内容を記述します。

-----  
もうお気づきかもしれませんが、ここは夢の世界なのです。  
私と『ドルー』……そして、  
私から最愛の人を奪った敵が作り出した  
封印の世界。

私達をつけ狙っているシスターは、  
ドルーを悪しき存在と決めつけて、  
彼女を無理矢理夢の世界に封印してしまいました。

あのシスターは誤解しているのです。  
自分の故郷を滅ぼした化け物がドルーであると。  
でもそれはあり得ません。彼女は多く見積もっても20台後半ですが、  
ドルーは私と100年以上一緒に居ます。  
その間ドルーが都市を破壊した事なんてありませんから。

私はドルーを救い出すべく、『夢見』の魔法を使って  
この世界に侵入しています。  
そして封印を探し求めては、あのシスターに殺されている。  
夢で殺されても死にませんが、『夢見』が解けて覚醒します。

そしてまた『夢見』を使って……いちごっこの繰り返しです。

でも、貴方達が来てくれた。貴方達が協力してくれるなら、この長い悪夢に終止符を打つ事ができるでしょう。

お願いします。私に協力してくれませんか？

---

※蕨野雫は魔術師であり、『精神操作』を使うことができる。  
このためエリクシアと対峙した時、数ターン稼ぐことができれば、彼女が呪文を発動してエリクシアを無効化し、ドルーが封印された場所を突き止めることが可能となる。

## 7.3. 『死亡』

※探索者が蕨野雫と敵対していない状態で、エリクシアの襲撃によって全滅した場合に発生する。

### 7.3.1.1 回目

◆ ◇ ◆

◆ ◇ ◆

◆ ◇ ◆

暗闇の中。ぼんやり灰かに光が灯り、目の前に女性らしき人影が浮かびます。  
人影は貴方達にこう囁きました。

【カットイン\_人影】



『お願い、彼女を救ってあげて。私のことはもういいから』

『このままだと彼女はもたない』

『彼女を連れて、そこから逃げて』

『あの狂人に殺される前に』

### 7.3.2.2 回目

◆ ◇ ◆

◆ ◇ ◆

◆ ◇ ◆

暗闇の中。ぼんやり灰かに光が灯り、目の前に女性らしき人影が浮かぶ。  
人影は貴方達にこう囁いた。

【カットイン\_人影】



『お願い、シズクを説得して。エリクシアに見つかる前に』

『私の言葉をシズクに伝えて。私のことはもう諦めて、  
貴女は現世で幸せに生きてって』

『私を助けるなんて無理なんだよ。シズクはもう何度も繰り返してる。  
シズクの行動はエリクシアに筒抜けなの』

『お願い。貴方達だけが頼りなの』

### 7.3.3.3 回目

◆ ◇ ◆

◆ ◇ ◆

◆ ◇ ◆

暗闇の中。ぼんやり灰かに光が灯り、目の前に女性らしき人影が浮かぶ。  
人影は貴方達にこう囁いた。

【カットイン\_人影】



『お願いだからシズクを、シズクを……！』

『多分、次が最後のチャンス』

『これ以上シズクに夢見を使わせちゃ駄目』

『私のことなんてどうでもいい、シズクに終わって欲しくないの』

### 7.3.4.4 回目

※シナリオ終了。エピローグ『終わる事なき夢の牢獄』に移動せよ。

## 8. エピローグ(後日談)

### 8.1. 終わる事なき夢の牢獄

……では、描写します。

お前は再び目を覚ます。もはや見慣れたワンルームマンション。  
だが、そこはすでに壊れていた。

【カットイン\_ワンルーム\_崩壊】



お前はすぐに気づくだろう、外に続く玄関がない事に。  
歪に歪んだ空間は、世界から隔絶されてしまったのだ。  
戸惑い狼狽えるお前達を尻目に、一人の女性が嗤い始める。

「あは、あははは、あはははははっ！」

それは蕨野雫だった『モノ』。  
一目見ればわかるだろう、彼女の精神は崩壊したと。  
もはや知性を残さぬ表情で、蕨野雫は嗤い続ける。

「そうだ、そうですよ、ひひ。最初からこうすればよかった」

「ここには間違いなくドルーがいる。ひひ。  
私達は永遠に一緒に居られる。ひひ、ひひっひひひひ」

彼女の言葉は真実だった。お前達の未来は消える。  
終わる事なき夢の牢獄で、永遠の時を生き続けるのだ——。

シナリオ終了、クトゥルフエンドです。  
探索者は全員ロストとなります。お疲れ様でした。

## 8.2. 悪者の存在しない悲劇

……では、描写します。

※『音楽なしでエピローグのシーンを開く』

貴方は目を覚まします。そこはいつもの見慣れた天井、間違いなく自分の部屋でした。

『あの狂った世界から戻って来れた』、ほっと胸を撫で下ろすでしょう。

平穏な日々を送る中、貴方はTVを見て驚きます。ニュースキャスターは無感情にこう告げていました。

『先日未明、イギリス出身のエリクシア=カータレットさん18歳が  
変死体で発見されました。遺体は下半身が欠損しており、  
上半身にも拷問の痕が残っていました。  
警察は猟奇殺人と見て捜査を進めています。』

画面に写ったその人物は、夢の世界で敵対したシスターでした。

貴方の脳裏に彼女の警告が木霊します。

『あの異形を世に解き放ってはならない』と。

ですが、貴方達はこの結末に後悔することはないでしょう。

蕨野雫とエリクシア=カータレット。どちらもお互いに正義を貫いた。

そして、貴方達は蕨野雫を選んだのですから。

後はただ祈るだけです。『彼女が世界を滅ぼしませんように』と。

そんなことを思いながらも、貴方は薄く笑いました。

『それはそれで、自分が選んだ選択だ』と。

シナリオ終了、ベストエンド???です！

お疲れ様でした！



### 8.3. 犠牲の上に守られた平和

……では、描写します。

※『音楽なしでエピローグのシーンを開く』

貴方は目を覚まします。そこはいつもの見慣れた天井、間違いなく自分の部屋でした。

『あの狂った世界から戻って来れた』、ほっと胸を撫で下ろすでしょう。

平穏な日々を送る貴方。でも、脳裏からある考えが離れないでしょう。

『蕨野雫は繰り返している』

『そして、おそらくは精神崩壊を迎えただろう』と。

ニュースでは報道されません。なぜなら『ただの発狂死』だから。

貴方は自問するでしょう。『これで本当に良かったのか』と。

蕨野雫は何度も訴えていました。

『ドルーは悪い子じゃない』と。『人を殺した事なんてない』と。

それが事実なのだとしたら、二人に罪はあったのでしょうか。

ですが、もはや腹水は盆に返りません。

もはや貴方にできるのは祈るだけ事でしょう。

『かの異形が封印されたまま、世界が平和であり続けますように』と――。

シナリオ終了、ベストエンド???です。

お疲れ様でした。

## 8.4. そして取り戻された泡沫

【音楽：エンディングBGM】

貴方は目を覚まします。そこはいつもの見慣れた天井、間違いなく自分の部屋でした。

【カットイン\_自室】

『あの狂った世界から戻って来れた』、ほっと胸を撫で下ろすでしょう。

平穏な日々を送る中、貴方達のもとに一通の封書が届きます。宛名は書かれていませんでした。ですが、裏の差出人欄には『蕨野雫&波戸岸ドルー』と記されています。中身は手紙と写真が同梱されていました。

-----  
お久しぶりです。私達の事を覚えていますか？

『夢』ではお世話になりました。  
あの後別れたきりでしたので、お礼と近況報告をいたします。

私とドルーは二人で仲良く過ごしています。  
例のエリクシアもたまにやってきますよ。  
まあドルーはまだ許してないのか、  
この前触手を埋め込んでいましたが。

……改めて、ありがとうございます。  
貴方達が居てくれなければ、私達は破滅していたでしょう。  
お礼というにはささやかですが、親愛のしるしを送ります。  
どうか貴方達が非日常に呑み込まれた時、  
これが助けになりますように。

ああそうそう。例の『君と過ごした泡沫』ですが、  
今度リメイクされるそうですよ！  
興味があれば見にいってみてください！  
泣ける事は保証します！

-----  
異形の二人がしたためた割には、あまりに普通で穏やかな手紙。  
貴方は思わず破顔しながら、  
同梱された『親愛のしるし』を手取るでしょう。

水に浮かぶ泡沫のような、泡を封じ込めた黒い石。  
それを見て貴方は思います。  
ああ、二人は失われた泡沫を取り戻す事ができたのだと。  
シナリオクリア、ベストエンドです！おめでとうございます！



## クリア報酬



現世に生還した者は以下の報酬を勝ち取ります。

- ロストせず生還した : 1D10のSAN回復
- 泡沫の幸せを取り戻させた : 1D3のSAN回復
- ✕誰もが生き残る道を選んだ : 1D3のSAN回復

異形の二匹と心を通わせた者は、以下のアーティファクトを獲得します。  
(ぷち卓以外で使用する際はKPに許可を取ってください)

『泡沫を籠めた黒』  
シヨゴス細胞で作られたお守りの石。

死に至るほどの致命的な物理ダメージを負った時、  
この石が代替細胞となる事で破損部位を補修する。  
耐久力を0から3に回復する事が許される。  
(一度使用したらなくなる)

(完)